

ご縁を大切に繋ぎたい 石商中里たより

2020.08 (No.154)



株式会社 石商中里
〒370-3532 群馬県高崎市中里町 16-1
TEL027-373-2767 FAX027-373-8197
http://www.sekishonakazato.co.jp

石商中里 検索

皆さん お元気ですか。群馬県は、6月19日に県境をまたぐ移動自粛が約2ヶ月ぶりに全面解除になりました。しかし、東京都を始め、緊急事態宣言が解除されて以降、7月中旬は日常生活のあらゆる場面でのクラスターが目立つようになり、300人越えの新規感染者が続いて、複数の県へ広がりを見せています。コロナ禍がなかなか終息の気配を見せない。世界ではコロナウイルス感染拡大中の国や第二波のケースもあります。

京都大学のIPS細胞研究所の山中伸弥先生は「コロナは人類の危機。桜は来年戻ってくるけど、人の命は戻ってこない」と雑誌対談で語っておいりました。



残暑お見舞い 申し上げます。

うがい・手洗い・マスク着用は徹底して！

「新しい生活様式」の実践例

- 一人ひとりの基本的感染対策■
 - 感染防止の3つの基本
 - ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い
- 日常生活を営む上での基本的生活様式■
 - 外出を控える ○「3密(密集、密接、密閉)」の回避
 - こまめに換気 ○咳エチケットの徹底
- 日常生活の各場面別の生活様式■

買い物 ○小人数ですいた時間に ○展示品への接触は控えめに	公共交通機関の利用 ○会話を控えめに ○混んでいる時間帯は避けて
スポーツなど ○ジョギングは小人数で ○すれ違うときは距離をとる	食事 ○持ち帰りや出前、デリバリーも ○大皿は避けて、料理は個々に
- 働き方の新しいスタイル■
 - テレワークやローテーション勤務 ○時差出勤
 - オンライン会議

全世界の人々が同じような災厄に遭い、苦難をともしにしている。依然として、自粛しながらの生活に変わりなく「自分を守りながら人に感染させない意識を共有して」という前提で行動することが大事。油断は出来ません。コロナ禍をきっかけに、人との接触方法、ビジネスの在り方、家庭での生活、暮らし全般が新しい様式に変わって社会生活に大変な影響が出ました。

企業ではテレワーク、学校ではオンライン学習、テレビ番組はリモート出演、人のつながり方が様変わりしてしまっただけでなく、頻りにカタカナ語があふれ出した。ロックダウン・アラート・ステイホーム・クラスター・アウトソーシング・フェイスマスク・フェイスシールド・高年齢な私にも理解出来るようになってきた。これから進化するであろうIT・AIの時代に心豊かな人と繋がり築いていけるのか。ともあれ、今はコロナに感染しない、感染させない。

ペットのお墓

ペットは家族の一員です。長年、一緒に生活していると、当たり前存在になつてきます。お客様は、生活を共にしたネコちゃんのお墓を作って供養したいとご来社されました。家族全員がネコちゃんを可愛がっており、人生の節目の時や落ち込んでいる時など、気持ち



ネコちゃんのお墓



ワンちゃんのお墓

和らぎとても癒されて助けられたと語ってくれました。ペットのお墓を作る方は、一緒に生きてきた証を残したいとの想いがあり、お墓を建て、名前を刻み、ずっと忘れる事なく供養されます。中里では、ペットのお墓を建てるお手伝いを承っております。



アドバイザー
岸 知昭

新居が完成したなら 屋敷氏神様 (稲荷様)

屋敷地や付属した田畑や山林地内を守る神様を屋敷神といい、古くは木や石を神の所在と示したのがあります。屋敷神様をお祀りした祠(お宮)の前でキツネが鎮座します。全国的に屋敷神として祀られる神には稲荷が最も多い様です。豊作・豊漁・商売繁盛の神として信仰されて屋敷の一隅に建てられている。お稲荷様とかお狐様とか呼ばれています。地域を守ってくれるのが氏神様や鎮守様です。



代々に屋敷をお守りしてきた屋敷神様。台石のみを新しく製作致しました。

身近な雑草の名

放っておいたらあっという間に草だらけ。雑草は繁殖力が高く、しぶとく長生きします。堅い土やアスファルトのすき間など、芽吹く強健な雑草。人に踏まれても少々の事では倒れない強敵で強者。



カタバミ (適正多年草)
晴れた日の午前中に花が開き、夕方には花びらを折りたたむ。根が深く張り巡らされ繁殖力に優れていて、一度根付くと厄介な雑草です。



ヘクソカズラ《アカネ科》つる性の多年草
冬になっても枯れない雑草で葉や茎から悪臭を臭わせる雑草で荒地、空き地、土手などの全国のいたる所に自生していてツルを伸ばして他の植物に絡みつきながら成長していく雑草です。

武家の間では強い繁殖力のあるカタバミのように、家がいづまでも絶えず続くという願いを込めて家紋に使われ「日本の五大家紋の一つ」となっています。由来は、葉の一方が欠けるように見えることからつけられたようです。

また、再生力がとても強い雑草なので草刈りや除草剤で処理を行った際に根が残っていたり、しっかりと根まで枯らすことができなかつた場合はそこから成長して再生してしまうのでしっかりと処理をすることが必要な雑草です。

中里周辺マップ
弊社の周辺に飲食店がオープンしました
住宅や新世代家族の人口が増えてます
素敵なお店を紹介いたします

ひなた
ランチ 11:00~15:00
ディナー 18:00~22:00

**スイーツ&サラダ & トースト
こまりな Cafe**
Am11:30~17:00



石商中里は「至優石」全国優良石材店認定店です。お客様や地域の繋がりを大切にしています。



Http://www.sekishonakazato.co.jp
facebook / ブログ / instagram



石商中里
QRコード



イラスト by 麻有子

ありがとう

一生懸命に生きてきた亡き人を、大切に守り繋ぐお墓。

完成した御墓所には一つ一つ思いが込められています。紹介させていただきます。



文字や形にこだわったデザイン墓。来た人に「ありがとう」のポストカードを届けるようにと思いを込めて。



「永遠の等 我が家」に相応しい。石の色合いとデザインがモダンでおしゃれな仕上がりに。

供養の形

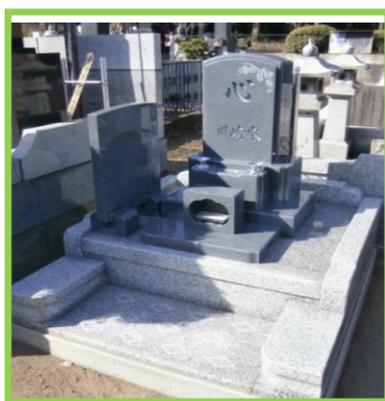


寿陵墓です。家族代々で使える調和のとれたデザインです。



中里の石工男子

見えない所にこそ気を配り、安心の自社施工。耐震工法で丁寧に仕上げております。一級技能士 丸山工事部長



「心」を込めてお墓参り。亡き人に逢いに来ます。

黒御影石と白御影石使用。和と洋のモダンなイメージ。お参りの場所に黒御影石のボーダーを入れた一層際だつてます。



インド産高級赤御影石とピンクの色合いが優しい印象を受けます。石の乱張りが引き立ちます。

もしもの時 文字彫刻・納骨の儀承ります

葬儀後のお墓供養のお手伝いをさせていただきます。墓誌や墓石等に納骨時までに彫刻を済ませておくのが一般的です。急なお骨納めや土へのお骨還し等いつでも対応できますのでご相談ください。

まずは お気軽にお問い合わせください。専用☎0120-86-1441

*女性スタッフ
お墓相談員
終活カウンセラー
お墓ディレクター



お墓つくり・お墓の移転・墓整理
墓所・墓石に関する悩みをお持ちの墓所内方に出る限りのアドバイスを致します。ディレクター 真下

もうすぐお盆... お墓のおそと お手伝い村...

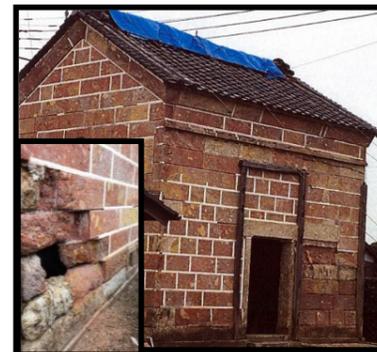


建物の玄関・床・壁等の石貼り・石積み・タイル工事等設計施工。建築業許可第6174

タイルや石貼り工事。おまかせください。



個人邸 石乱貼り



石蔵 改修工事

建築石材、タイルのサンプルや見積り、アドバイス等 お気軽にお問い合わせ下さい。建築部長小関 飯倉

タイル施工一級資格 技能大会で金

工事部 戸塚昌人



「タイル張り技能検定に合格し厚生労働大臣より一級技能士の名称を認められました。諸先輩の厳しいご指導を仰ぎつつ見事に合格。家庭では3人の頼もしい父であり、業務に取り組む姿勢は真面目で努力家。現場で見掛けの際は声を掛けてください。」

墓所の改修



墓所内を全面御影石貼りにして草が生えないように



基礎コンクリートを新規打ち直し。外周の風化が進んだ大谷石を御影石にリメイクいたしました。

お盆まつり

仏壇の仏様に手を合わせるという事の大切さ。朝一番のお茶と炊き立ての「飯」を供える役目は孫の仕事。ろくろくに火を燈してお線香にも火をつける。チンチンと鳴らして、のんのんご手を合わせる。子供には面白くて褒められてうれしいお手伝いなので。幼い頃から 仏様を大切にすることを育てましょう。初収穫した野菜や頂き物はまず、お仏壇へ供えてから口に入れる。旅に出るとき 帰った時、仏様へ無事を伝える。決断した時、迷う時 何処にいても姿の見えない仏様に 守られているのだと気付かされる。 誰にも親がいる。その又親にも親がいる。 ご先祖様がいて自分がある。宗教は違えども、親を大切に、感謝する気持ちに変わりは無いでしょう。仰々しいことをする前に、感謝の心を育てましょう。 独り立ちした時は、遠き親戚より近くの他人を頼る 一人では一生を終えられない。 お仏壇や神棚が無ければ 心のよりどころを決めるのも好いと思います。私がある昔、四世代同居生活(45年前は、床の間の柱に向かい、お願いしたり、愚痴つたり、ハハ(お父)だしたもGOD。今では笑い話なの?)



「疫病除け アマビエ」



その妖怪の名は「アマビエ」。その昔、肥後の国(熊本県)に現れたという半人半魚の妖怪。ある日の事、毎夜、海中に光る物体が出現したため、役人が赴いたところ、姿を現し「私は海中に住むアマビエと申す者なり」と名乗り、「当年より6カ年の間、諸国で豊作が続くが疫病も流行する。私の姿を書き写した絵を人々に早々に見せよ」と言明いた事を告げ、海に帰って行ったという。(wikipedia より)最近では、このアマビエに関するものが多く紹介されており、「疫病除け」として話題になっています。